(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2017-7194
(P2017-7194A)
(43)公開日　平成29年1月12日(2017.1.12)

(51)Int.Cl.		F I			テーマコード（参考）
B42D 11/00	(2006.01)	B42D	11/00	E	
		B42D	11/00	H	

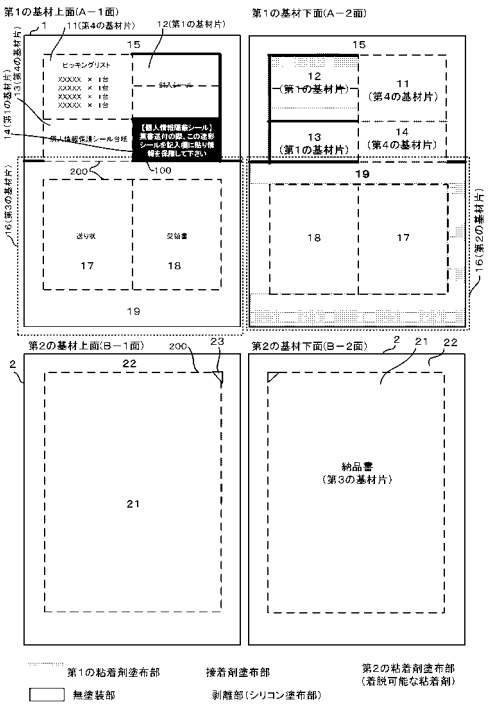
審査請求 未請求　請求項の数 5　ＯＬ　（全 16 頁）

(21)出願番号　特願2015-124328 (P2015-124328)
(22)出願日　平成27年6月22日 (2015.6.22)

(71)出願人　390002761
キヤノンマーケティングジャパン株式会社
東京都港区港南２丁目１６番６号
(74)代理人　100208904
弁理士　伊藤　秀起
(72)発明者　小沢　学
東京都港区港南２丁目１６番６号　キヤノンマーケティングジャパン株式会社内

(54)【発明の名称】ラベル伝票

(57)【要約】　（修正有）
【課題】発送の際に添付される基材片と基材片を台紙としたシールとを備え、基材片からシールが剥がされた後に露出した粘着面が保護されるラベル伝票を提供する
【解決手段】第１の基材１と第２の基材２とが重ね合わせられたラベル伝票であって、第１の基材１は、第２の基材２と対接する面に粘着剤が塗布された第１の基材片１２と、配送物に貼りつけた際、同梱物を保持可能な空間が設けられるよう粘着剤が塗布された第２の基材片１６とを備え、第２の基材２は、第１の基材片１２と対接する面に剥離剤が塗布されている配送物に添付される第３の基材片２１を備え、第１の基材１は、第２の基材２との対接面側に剥離剤が塗布されている第４の基材片１１を更に備え、第１の基材片１４は、第３の基材片２１から剥離された後、露出した面を覆うべく第４の基材片１３の剥離剤が塗布された面と対接できるよう、第４の基材片１３に連接されているラベル伝票。
【選択図】図２



【特許請求の範囲】
【請求項１】
第１の基材と第２の基材とが重ね合わせられて構成されたラベル伝票であって、当該第１の基材は、当該第２の基材と剥離可能に対接する面に粘着剤が塗布された第１の基材片と、伝票として配送物に貼りつけた際に当該配送物との間に同梱物を保持可能な空間が設けられるよう、前記第２の基材と対接する面に粘着剤が塗布された第２の基材片とを備え、当該第２の基材は、当該第１の基材片と対接する面に剥離可能に剥離剤が塗布されている第３の基材片であって、当該第２の基材片とともに当該配送物に添付される第３の基材片を備えるラベル伝票であって、
前記第１の基材は、
前記第２の基材との対接面側に剥離剤が塗布されている第４の基材片であって、前記第１の基材片と切取可能に連接されている第４の基材片を更に備え、
前記第１の基材片は、当該第１の基材片の粘着剤が塗布されている面が前記第３の基材片から剥離されて露出した後に、露出した面を覆うべく当該第１の基材片の粘着剤が塗布された面と当該第４の基材片の剥離剤が塗布された面とが剥離可能に対接できるよう、当該第４の基材片に連接されていることを特徴とするラベル伝票。
【請求項２】
前記第１の基材片の粘着剤が塗布された側の面には、前記空間に保持されてはみ出た前記同梱物に対接する粘着剤が塗布されていない領域を更に備え、
当該第１の基材片の粘着剤が塗布されていない領域は、当該第１の基材片の粘着剤が塗布されている領域に挟み込まれるように配置されていることを特徴とした請求項３に記載の伝票。
【請求項３】
前記第１の基材片の粘着剤が塗布されていない領域は、当該第１の基材片の粘着剤が塗布されていない領域に対接する前記同梱物を取り出す際に当該第１の基材片の分断を容易にするためのミシン目が設けられていることを特徴とする請求項４に記載のラベル伝票。
【請求項４】
前記第１の基材片は、前記同梱物を封入するための封入シールとして用いられ、
前記第２の基材片は、伝票として用いられ、
前記第３の基材片は、明細書または納品書もしくは明細書兼納品書として用いられ、
前記第４の基材片は、ピッキングリストとして用いられることを特徴とする請求項１乃至３のいずれか１項に記載のラベル伝票。
【請求項５】
前記第１の基材片の一部は、再剥離可能に貼り付けられる粘着剤が用いられていて、前記同梱物に記載される情報を遮蔽するべく当該情報の記載場所に貼られる遮蔽シールとして用いられ、前記第４の基材片の一部は、前記遮蔽シールと対接した際に、当該遮蔽シールのシール台紙として用いられることを特徴とする請求項４項に記載のラベル伝票。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明は、ラベル伝票に関する。
【背景技術】
【０００２】
従来、配送品を送付するための配送伝票の一つに、特許文献１のような、２枚のシートから構成され、送り状と納品書とが一体化した伝票が提案されている。そして特許文献１のような配送伝票は、納品書などを保護しながら配送が可能である。なぜならば、特許文献１のように設けることで、伝票の送り状の部分と配送品の包装（包装箱、包装容器や包装紙などの包みなど）との間に納品書を封入することができるからである。
また、特許文献１のような配送伝票は、送達後に送り状や納品書を切り取って、重ねて保管することが容易である。なぜならば、特許文献１のように設けることで、送り状や納

【０００３】
品書に粘着性を極力低減した伝票を構成できるからである。しかし、特許文献１の伝票は、印字面が一方のシート（上側基材）にしか設けられておらず、他方のシート（下側基材）を印字面（納品書や送り状）として活用していない。つまり、片面印刷の伝票である。このような片面印刷の伝票では、印字面をより広く取ると、必然的に他方のシートも大きくなる。つまり、印字面を広く取った分だけ、印字面として使えない部位（＝廃材となる部位）が増えるという問題がある。たとえば、上記特許文献１の伝票では、他方のシートの全てが「廃材となる部位」となるため、伝票として非常に無駄が出やすい。
【先行技術文献】
【特許文献】
【０００４】
【特許文献１】特開２０１１－１５６８３３号公報
【発明の概要】
【発明が解決しようとする課題】
【０００５】
そこで、片側印刷伝票と同じサイズの印刷用紙の印字面を取っても、よりも廃材となる部位が少ない伝票、すなわち、一方の面と他方の面とに印字領域が取れる（両面印刷が可能である）伝票の提供をすべく、本出願人は以下の伝票を考案した。すなわち、図１０に示すような、片側印刷伝票と同じサイズの印刷用紙の印字面を取っても、よりも廃材となる部位が少ない伝票、すなわち、一方の面と他方の面とに印字領域が取れる（両面印刷が可能である）伝票である。
この図１０の伝票は、同梱書類を同封でき、次のような手順で配送物に貼付けて発送できる。
【０００６】
まず、図１１に示すように、ピッキングリストを切取って、物品のピックアップ作業を行い、ピックアップした物品を配送物（配送箱）に入れ配送箱に封をする。次に、荷札を切取って、配送物（配送箱）に貼り付ける。
【０００７】
次に、図１２に示すように、納品書保持部をめくりあげて剥がす（図１２（ａ））。そして、折り目に従って、納品書を折り込む（図１２（ｂ））。この際、同梱物が他にあれば、折りたたまれる納品書の間に、一緒に挟み込む。次に、配送物に対接するよう伝票部（納品書保持部や納品書や同梱物も含め）を裏返し、同梱物や納品書が同梱されるよう配送品に貼る（図１２（ｃ）と（ｄ））。以上が出荷前に行う作業である。配送物はこの状態で受取人へ向けて発送される。図１３乃至１５は、受取人の作業になる。
【０００８】
次に、図１３に示すように、送り状と受領書を切取る。受領書は受取りの印鑑やサインを施し、配送物の配送者へ受取り控えとして渡す。また、送り状は、入庫履歴管理のために保管してお関しておく。
【０００９】
次に、図１４に示すように、納品書をミシン目に沿って切り離す。この際、納品書とともに同梱された同梱物も併せて取り出す。納品書が切り離された状態が図１５である。
このように、図１０の伝票を用いれば、ゴミの発生を抑えつつ様々な同梱物封入し、配送物を発送することができる。
しかし図１０の伝票では、ロの字外周部が伝票を固定するために、次のような問題が起きる。
第１の問題は、ロの字の内周縁よりも大きな同梱物が同梱できない点である。
第２の問題は、同梱物の保持できる容積が、小さいことである。
第３の問題は、伝票部を配送物に貼り付けた後は、同梱物の追加ができないことである。
【００１０】

そこで、図１２のように、４辺のうち少なくとも１辺に粘着剤のない領域を設けて、同梱物を、伝票部を配送物に貼り付けた後にも入れられるように構成する方法が考えられる。こうすることで、封入できる同梱物のサイズや容積を拡大することができる。

【００１１】

しかし、１辺に粘着剤のない領域を設けることで、同梱物を入れられるようになる反面、入れた同梱物が出てきてしまうリスクも生まれる。そこで、図１０の荷札を廃し、このシール部分で同梱物を封入するシールにする方法が考えられる（図１１のような、封入シール１２で同梱物を封入した状態）。

このように、図１６の伝票を用いる場合には次のような手順が必要になる。

【００１２】

まず、ピッキングリスト１１を切取る。そして、ピッキングリスト１１の記載内容に基づいて、配送物４０（配送箱）に入れるべき物品をピッキングして入れ、封をする。

次に、封入シール１２を切取って、どこかに保管をしておく。

次に、伝票部１６とそれ以外の部位とに分離する。そして、配送物４０に伝票部１６を貼り付ける。

【００１３】

次に、納品書２１を折りたたんで、伝票部１６と配送物４０との間の空間に入れる。なお、納品書２１は、この空間からはみ出さないように折りたたんで入れなければならない。また、納品書２１とともに、別途用意した返信用葉書３０と、返信用葉書３０の個人情報記入欄３１に貼るための個人情報保護シール台紙付５０を併せて入れる。なお、返信用葉書３０や個人情報保護シール台紙付５０のサイズも、この空間内に収まるサイズとする。

次に、図１１（ａ）に示すように、伝票部１６と配送物４０との間の空間のいる口部分に、保管してあった封入シール１２を貼り付けて、入口に封をする。

以上が、図１６のラベル伝票の使い方であるが、一つ大きな問題がある。

それは、封入シール１２の粘着剤が塗布された面が、シールの台紙（納品書２１）から剥がされた後に露出してしまい、保護されなくなるという問題である。

【００１４】

封入シール１２を切取った後には、伝票部１６の貼付け、納品書２１の切取・折りたたみ・封入。その他同梱物の封入といった様々な工程がある。そして、最後に封入シール１２を貼り付けるわけだが、封入シール１２を剥がしてから貼り付けるまでの粘着剤が塗布された場所が露出する間には、粘着力が低下する様々なリスクがある。例えば、誤って誰かが粘着剤の塗付された部分に触れてしまうリスクがある。また、埃などの異物が付着するリスクもある。さらには、時間経過による粘着剤の乾燥のリスクもある。

【００１５】

本発明は、発送の際に添付される基材片と当該基材片を台紙としたシールとを備えるラベル伝票であって、前記基材片から前記シールが剥がされた後に露出した粘着面が保護されるラベル伝票を提供する。

【課題を解決するための手段】

【００１６】

本発明は、第１の基材と第２の基材とが重ね合わせられて構成されたラベル伝票であって、当該第１の基材は、当該第２の基材と剥離可能に対接する面に粘着剤が塗布された第１の基材片と、伝票として配送物に貼りつけた際に当該配送物との間に同梱物を保持可能な空間が設けられるよう、前記第２の基材と対接する面に粘着剤が塗布された第２の基材片とを備え、当該第２の基材は、当該第１の基材片と対接する面に剥離可能に剥離剤が塗布されている第３の基材片であって、当該第２の基材片とともに当該配送物に添付される第３の基材片を備えるラベル伝票であって、前記第１の基材は、前記第２の基材との対接面側に剥離剤が塗布されている第４の基材片であって、前記第１の基材片と切取可能に連接されている第４の基材片を更に備え、前記第１の基材片は、当該第１の基材片の粘着剤が塗布されている面が前記第３の基材片から剥離されて露出した後に、露出した面を覆う

べく当該第１の基材片の粘着剤が塗布された面と当該第４の基材片の剥離剤が塗布された面とが剥離可能に対接できるよう、当該第４の基材片に連接されていることを特徴とする。

【発明の効果】

【００１７】

このように設けることで、発送の際に添付される基材片と当該基材片を台紙としたシールとを備えるラベル伝票であって、前記基材片から前記シールが剥がされた後に露出した粘着面が保護されるラベル伝票を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【００１８】

【図１】図１（ａ）乃至図１（ｃ）の総称であり、本発明の伝票を構成する２枚の基材（シート）を重ね合わせる様子の一例を、側面図や斜視図で示した構成図である。

【図２】本発明の第１の実施例の伝票を構成する２枚の基材のそれぞれの上面と下面の一例を示した構成図である。

【図３】ラベル伝票から、ミシン目を介して連接された状態のピッキングリスト１１と封入シール１２が、また、ミシン目を介して連接された状態の個人情報保護シール台紙１３と個人情報保護シール１４が、それぞれ分離された状態の一例を示した構成図である。

【図４】図３で分離された基材片がミシン目に沿って折りたたまれた状態の一例である。

【図５】図３で基材片が分離された後のラベル伝票を２つに剥がして、第２の基材を有する部位と、伝票部１６とに分離した状態の一例を示した構成図である。

【図６】伝票部１６のＡ－２面を配送物４０に貼り付けた後、同梱物を封入した状態の一例を示した構成図である。

【図７】図６の同梱物の一つである返信用葉書３０の一例を示した構成図である。

【図８】本願発明の第２の実施例となるラベル伝票の構成の一例を示した構成図である。

【図９】第２の実施例において、伝票部１６を配送物４０に貼り付けて、同梱物を封じた一例を示す構成図である。

【図１０】両面印刷が可能で、ごみの少ないラベル伝票の一例を示した構成図である。

【図１１】図１０からピッキングリストと荷札が切り取られた状態の一例を示した構成図である。

【図１２】図１１のラベル伝票の伝票部を、配送物に貼り付けられるようにするまでの手順の一例を示した構成図である。

【図１３】図１２の配送物を受け取った受取人のラベル伝票の扱い方の一例を示した構成図である。

【図１４】図１３（ｂ）から納品書が切り取られる様子の一例を示した構成図である。

【図１５】図１４から納品書が切り取られた状態の一例を示した構成図である。

【図１６】図１０よりも同梱物の収納容量を増やした封入シール付のラベル伝票の一例を示した構成図である。

【図１７】図１０のラベル伝票の使用例を示した構成図である。

【発明を実施するための形態】

【００１９】

図１は、図１（ａ）乃至図１（ｃ）の総称であり、本発明の伝票を構成する２枚の基材（シート）を重ね合わせる様子の一例を、側面図や斜視図で示した構成図である。２枚の基材は、同一または略同一の形状の基材であり、対接する面の一部が接着されている。そして、これらの図１（ａ）乃至図１（ｃ）における破線の矢印は、２枚の基材のそれぞれの角の重なり合う位置を示している。面の詳細については図２で述べる。

図１（ａ）は、本発明の伝票を構成する２枚の基材の一例を、側面図で示した構成図である。

第１の基材上面（Ａ－１面）は、印字領域を持つとともに、第２の基材を対接しない面である。

第１の基材下面（Ａ－２面）は、第２の基材上面（Ｂ－２面）と対接する面である。

第２の基材下面（Ｂ－１面）は、第１の基材下面（Ａ－２面）と対接する面である。
第２の基材上面（Ｂ－２面）は、印字領域を持つとともに、第１の基材を対接しない面である。
【００２０】
このように、本発明の伝票においては印字可能な印字領域が、Ａ－１面とＢ－２面に備えられており、プリンターなどの印刷機械によって、Ａ－１面とＢ－２面の両面印刷が可能である。
【００２１】
本発明の基材の材料には、一般用紙、上質紙、感圧紙（登録商標）や感熱紙等の機能性用紙、複写用紙、クラフト紙、グラシン紙、パーチメント紙、レーヨン紙、コート紙、合成紙、樹脂フィルムなどによりラミネートされた紙等の紙が好適に用いられる。そして、セロファン、延伸ポリプロピレン、ポリエチレンテレフタレート（ＰＥＴ）、発泡ＰＥＴ、延伸ポリスチレン、ポリ塩化ビニル等の樹脂フィルム等であってもよい。
図１（ｂ）は、伝票を構成する２枚の基材を重ね合わせる様子の一例を、Ａ－１面側から見た斜視図で示した構成図である。
図１（ｃ）は、本発明の伝票を構成する２枚の基材を重ね合わせる様子の一例を、Ｂ－２面側から見た斜視図で示した構成図である。
【００２２】
図２は、本発明の第１の実施例の伝票を構成する２枚の基材のそれぞれの上面と下面の一例を示した構成図である。以下、図５まで第１の実施例の伝票について述べてゆく。
＜第１の基材の構成＞
ここから、第１の基材１の構成について述べる。
【００２３】
第１の基材１は、以下の基材片から構成されている。具体的には、ピッキングリスト１１（第４の基材片）、封入シール１２（第１の基材片）、個人情報保護シール台紙１３（第４の基材片）、個人情報保護シール１４（第１の基材片）、コの字外周部１５、伝票部１６（第２の基材片）である。そして、これらの基材片は、ミシン目２００または、スリット１００を介して連接している。なお、スリット１００もミシン目２００も、連接する基材片同士を切取可能に連接するものである。
【００２４】
また、伝票部１６は、送り状１７、受領書１８、ロの字外周部１９で構成されている。そして、伝票部１６は、配送物４０に貼り付けて配送品と共に送付する役割を持つ基材片である。具体的にどのようなプロセスで貼り付けられるのかについては、図５や６にて後述する。
【００２５】
ロの字外周部１９は、矩形で中空なロの字型の基材片である。ロの字外周部１９の外周縁のうちの３辺は、第１の基材１の、外周縁である。そして、残りの１辺は、コの字外周部１５や個人情報保護シール１４とスリット１００を介してと連接し、個人情報保護シール台紙１３とミシン目２００を介して連接している。
＜第１の基材の基材片同士の連接について＞
【００２６】
ロの字外周部１９の内周縁（ロノ字の内側の縁）は、矩形の送り状１７と受領書１８のそれぞれ３辺と、ミシン目２００を介して連接されている。また、ロの字外周部１９の内周縁と連接していない送り状１７と受領書１８の残りの一辺同士はミシン目２００を介して連接されている。
【００２７】
コの字外周部１５の外周縁３辺は、第１の基材１の外周縁である。そして、第１の基材１の外周縁は、ロの字外周部１９の外周縁３辺と、コの字外周部１５は、外周縁３辺とで構成されている。
【００２８】

コの字外周部１５の内周縁３辺は、それぞれ矩形のピッキングリスト１１、封入シール１２、個人情報保護シール台紙１３、個人情報保護シール１４の辺と連接している。

【００２９】

コの字外周部１５の内周縁は、ピッキングリスト１１とは連続する２辺がミシン目を介して連接されている。また、コの字外周部１５の内周縁は、封入シール１２とは、連続する２辺がスリット１００を介して連接されている。また、コの字外周部１５の内周縁は、個人情報保護シール台紙１３とは、１辺がミシン目２００を介して連接されている。またコの字外周部１５の内周縁は、個人情報保護シール１４とは、１辺がスリット１００を介して連接されている。

【００３０】

ピッキングリスト１１は、コの字外周部１５の内周縁と連接する２辺以外の辺は、残りの２辺がそれぞれ封入シール１２および個人情報保護シール台紙１３とミシン目２００を介して連接されている。封入シール１２の４つの辺のうち、コの字外周部１５の内周縁と連接する２辺とピッキングリスト１１と接する１辺以外の辺は、個人情報保護シール１４の辺とスリット１００を介して連接されている。個人情報保護シール台紙１３の４辺のうち、コの字外周部１５の内周縁と連接する１辺とピッキングリスト１１と接する１辺とロの字外周部１９の外周縁と連接する１辺以外の辺は、個人情報保護シール１４とミシン目２００を介して連接されている。

＜第１の基材の基材片と第２の基材の基材片との対接について＞

コの字外周部１５のＡ－２面には、接着剤が塗布されている。そして、納品書保持部２２と対接し、剥離できないよう接着されている。

【００３１】

ピッキングリスト１１、封入シール１２、個人情報保護シール台紙１３、個人情報保護シール１４はそれぞれ、納品書２１と対接している。ピッキングリスト１１と個人情報保護シール台紙１３のＡ－２面（第２の基材の対接面側）には剥離剤（例えばシリコン）が塗布されている。

【００３２】

封入シール１２のＡ－２面には、粘着剤を塗布していない中央の領域を挟み込む形で、並行する２辺に平行して粘着剤が「＝」状に塗布されている。つまり、粘着剤が塗布されていない領域が、粘着剤が塗布されている領域に挟み込まれるように配置されている。このように、中央部分に粘着剤を塗布していない領域があるのは、図５のように同梱物（例えば納品書２１）に封をする際に、同梱物がはみ出しても同梱物には封入シール１２が貼り付くことなく封入できるように設けたためである。また、封入シール１２に塗布される粘着剤は、剥離剤を塗布した面に貼り付けた際には着脱可能に対接し、剥離剤を塗布していない面に貼り付けた際には、着脱できないように貼り付く性質を有するものが望ましい。このような性質を有することが望ましいのは、剥離剤を塗布した面に貼り付けて粘着面を保護した後、同梱物を封入するために伝票部１６と配送物４０とに貼り付けて同梱物を封ずるためである。詳細は図３や図５で述べる。また、封入した同梱物を取り出す際に封入シール１２を破りやすくする（分断を容易にする）ために、粘着剤の塗付していない面に、封入シール１２の平行な外周２辺に達するミシン目が設けられている。

【００３３】

個人情報保護シール１４のＡ－２面には、粘着剤が塗布されている。そして、塗布される粘着剤は、シリコン面に貼りつけた際にも、何も塗布されていない面に貼り付けた際にも再剥離可能な性質を有することが望ましい。このような性質を有することが望ましいのは、個人情報保護シール１４の粘着面を剥離剤を塗布した面に貼り付けて粘着面を保護した後、返信用葉書３０の個人情報記入欄３１に貼り付けて投函し、送達後にシールを再剥離するためである。詳細は図３や図７で述べる。

【００３４】

伝票部１６のＡ－２面のうち、送り状１７と受領書１８は何も塗布されていない領域である。さらに、ロの字外周部１９の内周縁の平行する２辺の延長方向のうちいずれか一方

の延長方向にも、何も塗布されていない領域がある。そして、このように設けられていることで、伝票部１６が配送物４０に伝票として貼り付けられた際に、配送物と伝票部との間に同梱物を保持可能な空間が設けられる。

【００３５】

ロの字外周部１９は、上記の何も塗布されていない領域以外の領域はコの字型に粘着剤が塗布されている。粘着剤は、封入シール１２に塗布されるものと同様に、剥離剤を塗布した面に貼り付けた際には着脱可能に対接し、剥離剤を塗布していない面に貼り付けた際には、着脱できないように貼り付く性質を有するものが望ましい。

＜第２の基材の基材片同士の連接について＞

【００３６】

第２の基材は、納品書２１（第３の基材片）と納品書保持部２２とで構成されている。納品書２１は、明細書や、明細書兼納品書も含んで考えるが、ここではまとめて「納品書」と呼ぶことにする。

また、つまみ２３は、納品書保持部２２から納品書２１をミシン目に沿って切り取る際に、切取の起点としてつまみやすいよう、設けられている。

納品書保持部２２は、ロの字の形状で外周縁は第２の基材の外周縁であり、内周縁は、矩形の納品書２１の外周縁とミシン目２００を介して連接されている。

＜第２の基材の基材片と第１の基材の基材片との対接面について＞

【００３７】

納品書２１のＢ－１面は、ピッキングリスト１１、封入シール１２、個人情報保護シール台紙１３、個人情報保護シール１４、送り状１７、受領書１８、ロの字外周部１９のＡ－２面と対接している。ピッキングリスト１１、個人情報保護シール台紙１３、送り状１７、受領書１８との対接面には何も塗布されていない。一方、封入シール１２や個人情報保護シール１４の対接面、そしてロの字外周部１９との対接面には、剥離剤が塗布されており、粘着剤の塗付されたＡ－２面と剥離可能に対接している。

【００３８】

納品書保持部２２のＢ－１面は、コの字外周部１５やロの字外周部１９のＡ－２面と対接している。このうち、コの字外周部１５との対接面は接着剤で剥離できないよう固着されており、一方、粘着剤が塗布されたロの字外周部１９との対接面には剥離剤が塗布されており、剥離可能に対接している。

【００３９】

図３は、ラベル伝票から、ミシン目を介して連接された状態のピッキングリスト１１と封入シール１２が、また、ミシン目を介して連接された状態の個人情報保護シール台紙１３と個人情報保護シール１４が、それぞれ分離された状態の一例を示した構成図である。

図４は、図３で分離された基材片がミシン目に沿って折りたたまれた状態の一例である。

【００４０】

図４（ａ）は、ミシン目に沿って折られてＡ－２面同士を対接させた状態のピッキングリスト１１と封入シール１２の上面・下面・断面を示した構成図である。ピッキングリスト１１の剥離剤が塗布された面が、封入シール１２の粘着剤の塗付された面を覆っており、粘着剤の塗付された面を、よごれ・異物の付着や乾燥等から保護している。

ピッキングリスト剥離剤１１´は、ピッキングリスト１１のＡ－２面に塗布された剥離剤である。

封入シール粘着剤１２´は、封入シール１２のＡ－２面に塗布された粘着剤である。

【００４１】

図４（ｂ）は、ミシン目に沿って折られてＡ－２面同士を対接させた状態の個人情報保護シール台紙１３と個人情報保護シール１４の上面・下面・断面を示した構成図である。個人情報保護シール台紙１３の剥離剤が塗布された面が、個人情報保護シール１４の粘着剤の塗付された面を覆っており、粘着剤の塗付された面を、よごれ・異物の付着や乾燥等から保護している。

個人情報保護シール台紙剥離剤１３´は、個人情報保護シール台紙１３のＡ－２面に塗布された剥離剤である。
個人情報保護シール剥離剤１４´は、個人情報保護シール１４のＡ－２面に塗布された粘着剤である。
図５は、図３で基材片が分離された後のラベル伝票を２つに剥がして、第２の基材を有する部位と、伝票部１６とに分離した状態の一例を示した構成図である。
図５（ａ）は、分離途中のラベル伝票の一例を示した構成図である。
図５（ｂ）は、分離後のラベル伝票の一例を示した構成図である。
図６は、伝票部１６のＡ－２面を配送物４０に貼り付けた後、同梱物を封入した状態の一例を示した構成図である。
図６（ａ）は、伝票部１６を配送物４０に貼り付けて、同梱物を封入した斜面図である。

【００４２】
伝票部１６と、配送物４０との間の空間には同梱物（図６では、３つ折りされた納品書２１、返信用葉書３０、対接する個人情報保護シール台紙１３と個人情報保護シール１４）が入れられており、納品書２１が、入口から少しはみ出ている状態である。

【００４３】
そして、はみ出た納品書２１を跨ぐ形に、図３の状態からピッキングリストから分離された封入シール１２の粘着剤の塗付された面が、伝票部１６と配送物４０とに貼り付けられて、同梱物が出ないように封をしている。
図６（ｂ）は、Ｃ－Ｃ´断面の一例を示した構成図である。
ロの字外周部粘着剤１９´は、ロの字外周部のＡ－２面に塗布された粘着剤である。
図６（ｃ）は、Ｄ－Ｄ´断面の一例を示した構成図である。
封入シール粘着剤１２´は、封入シール１２のＡ－２面に塗布された粘着剤である。
図７は、図６の同梱物の一つである返信用葉書３０の一例を示した構成図である。

【００４４】
図７（ａ）は、個人情報保護シール１４が貼られる前の返信用葉書３０の一例を示した構成図である。返信用葉書３０は、個人情報保護シール１４を貼り付けて書き込まれた個人情報を保護するべき領域（個人を特定可能な情報の記載場所）である、個人情報記入欄３１を有している。

【００４５】
図７（ｂ）は、個人情報保護シール１４が貼られた後の返信用葉書３０の一例を示した構成図である。そして、個人情報記入欄３１には、図６の同梱物の一つであるミシン目に沿って折られて剥離可能に対接する個人情報保護シール台紙１３と個人情報保護シール１４から、個人情報保護シール１４が切り取られて貼り付けられる。つまり、個人情報保護シール１４は、情報を遮蔽するべく貼られる遮蔽シールである。

【００４６】
図８は、本願発明の第２の実施例となるラベル伝票の構成の一例を示した構成図である。第１の実施例との構成の違いは、封入シール１２が２つ備えられている点と、ロの字外周部１９の粘着剤の塗付部が「コの字」ではなく、内周縁のうち平行する２辺の延長線上方向に「二の字」に設けられている点である。その結果、図９に示すように、伝票部１６と配送物４０との間に設けられる同梱物の収納スペースの入口は、第１の実施例のように１つではなく、２つになる。
図９は、第２の実施例において、伝票部１６を配送物４０に貼り付けて、同梱物を封じた一例を示す構成図である。

【００４７】
第１の実施例との違いは、納品物が２か所の入口から少しはみ出していて、納品物を跨ぐように納品物の入口２か所で、封入シール１２を伝票部１６と配送物４０とに貼り付けて納品物を封じている点である。
図１０は、両面印刷が可能で、ごみの少ないラベル伝票の一例を示した構成図である。

【００４８】
図１０のラベル伝票には、図２の本願発明のように封入シール１２がなく、代わりに荷札がある。荷札は、Ａ－２面に粘着剤が塗布されており、切り取られた後に配送物に貼り付けて用いられる。
【００４９】
また、ロの字外周部に対接する面であって、納品書の周囲をコの字に囲む「納品書囲み部」を備える点も、図２の本願発明とは異なる点である。納品書囲み部にはコの字外周部１５に用いられるような接着剤が塗布されており、対接するＡ－２面と剥離しないように固着されている。また、納品書囲み部の内周縁は納品書とミシン目を介して切取可能に連接されており、外周辺は納品書保持部とスリットを介して切取可能に連接されている。
【００５０】
図１１は、図１０からピッキングリストと荷札が切り取られた状態の一例を示した構成図である。切り取られたピッキングリストの使い方は、本願発明と同様である。切り取られた荷札は、配送物の配送先を明示するために、配送物に貼って用いられる。
【００５１】
図１２は、図１１のラベル伝票の伝票部を、配送物に貼り付けられるようにするまでの手順の一例を示した構成図である。まず、図１１から納品書保持部を剥がす（図１２（ａ））次に、納品書囲み部を介して伝票部に固着されている納品書を、封入できるよう折りたたむ（図１２（ｂ））。この際、他に同梱物があれば、納品書の間に挟み込む。ただし同梱物は、露出したロの字外周部の粘着面に触れるとその部分とくっついてしまうため、納品書と納品書囲み部の領域をはみ出るほど大きなものを用いないよう注意が必要である。次に、納品書・納品書に挟んだ同梱物が封入されるように伝票部を裏返して配送物に貼り付ける（図１２（ｃ）や（ｄ））。この状態で、配送物は出荷元から出荷先へ発送される。
図１３は、図１２の配送物を受け取った受取人のラベル伝票の扱い方の一例を示した構成図である。
図１３（ａ）は、送達された直後の配送物とラベル伝票である。
【００５２】
図１３（ｂ）に示すように、まず、受取人は、受領証を切り離す。そして受領証に受領印や受取りのサインをし、配送物の配送人に手渡す。また、送り状を切り取って、入庫履歴管理のために保管しておく。
図１４は、図１３（ｂ）から納品書が切り取られる様子の一例を示した構成図である。
受取人は、納品書の一端をつまんで引っ張り、ミシン目に沿って切り離す。この際、同梱されている同梱物があれば、併せて取り出す。
図１５は、図１４から納品書が切り取られた状態の一例を示した構成図である。
【００５３】
図１６は、図１０よりも同梱物の収納容量を増やした封入シール付のラベル伝票の一例を示した構成図である。図１６には、図１０のような納品書囲み部がない。また、ロの字外周部のＡ－２面は、図１０のように４辺全体に粘着剤が塗布されているのではなく、３辺（コの字状）に粘着剤が塗布されていて、粘着剤の塗付されていない辺が１辺存在する。そして、伝票部が貼り付けられる際には、この粘着剤の塗付されていない領域が伝票部と配送部で構成される空間に同梱物を入れるための入口となる。そして、図１６には、図１０のような荷札がなく、代わりに封入シールがある。そして、この封入シールは同梱品を伝票部の中に封入しておくために、同梱物の入口を塞ぐべく、図１７（ａ）のように貼られる。
図１７は、図１６のラベル伝票の使用例を示した構成図である。
【００５４】
図１７は、同梱品を伝票部の中に封入しておくために、同梱物の入口を塞ぐべく、封入シールが伝票部と配送品との間に貼られた状態の一例を示した構成図である。ただし、図６と異なり、納品書２１がはみ出ていない。これは、図１０の封入シール１２のＡ－２面

全体に粘着剤が塗布されてしまっているためである。つまり、図２の封入シール１２のように、粘着剤の塗付されていない面を備えていないため、はみ出した納品書２１を跨ぐ形で同梱物を封入することができないのである。

【００５５】

図１７（ｂ）は、図１７（ａ）の断面図である。折りたたまれた納品書や、返信用葉書、個人情報保護シール台紙付５０が、同梱品として封入されていることを示している

【００５６】

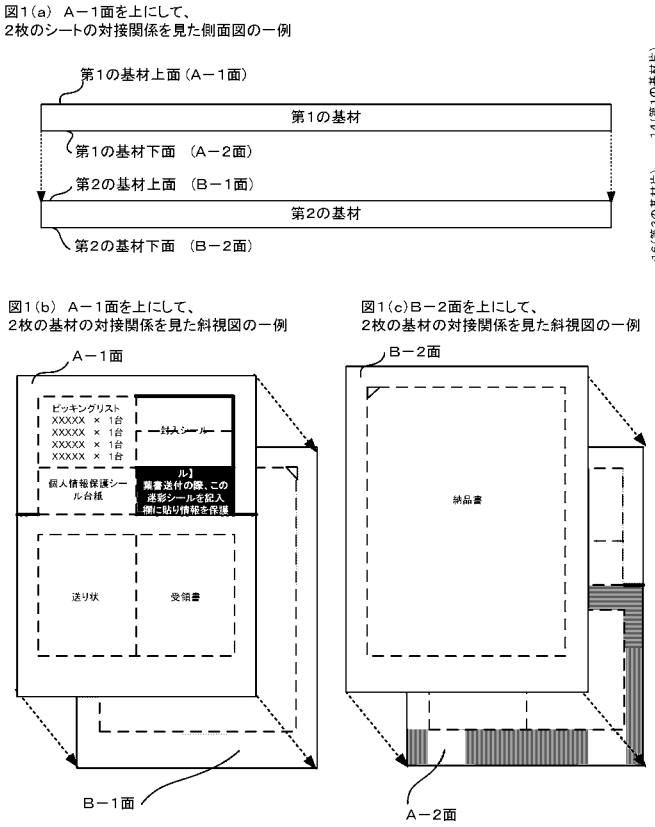
個人情報保護シール台紙付５０は、ラベル伝票とは別に用意されるシール台紙付の個人情報保護シールである。ミシン目で連接されていない点を除いては、図４（ｂ）と同じ構成である。

【符号の説明】

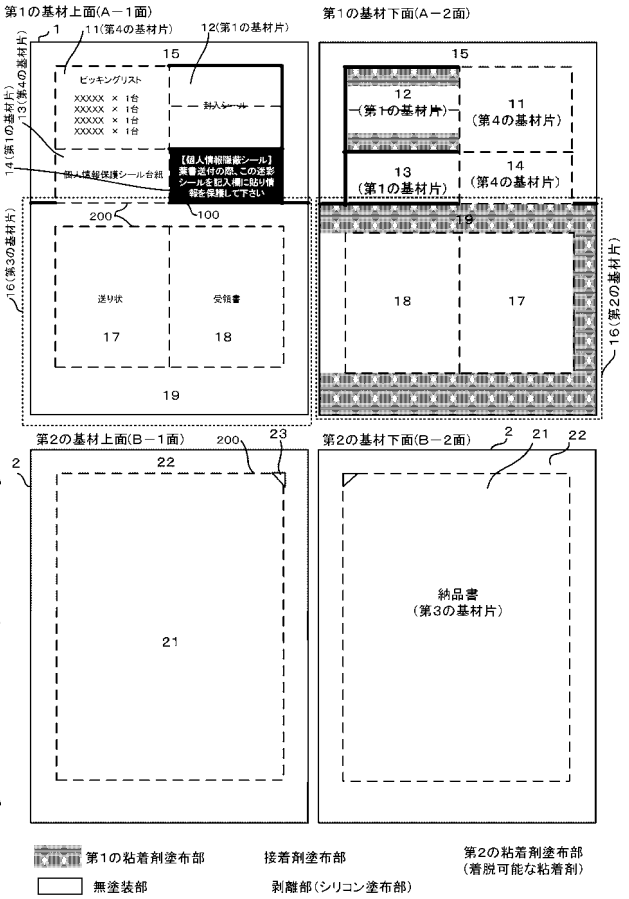
【００５７】

１　第１の基材
２　第２の基材
１１　ピッキングリスト（第４の基材片）
１２　封入シール（第１の基材片）
１３　個人情報保護シール台紙（第４の基材片）
１４　個人情報保護シール（第１の基材片・遮蔽シール）
１５　コの字外周部
１６　伝票部（第２の基材片）
１７　送り状
１８　受領書
１９　ロの字外周部
２１　納品書（第３の基材片）
２２　納品書保持部
２３　つまみ
３０　返信用葉書
３１　個人情報記入欄
４０　配送物
５０　個人情報保護シール台紙付
１００　スリット
２００　ミシン目

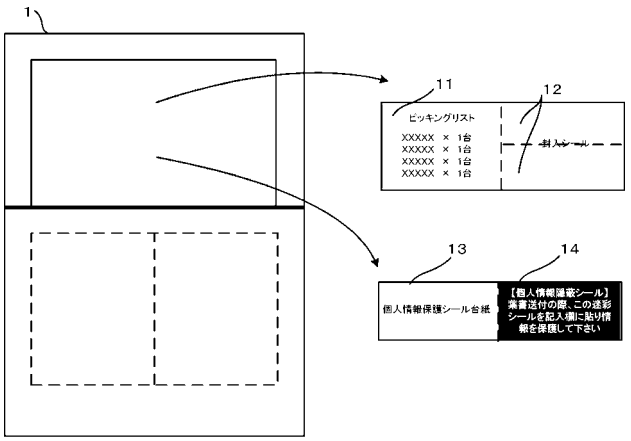
【図１】


図1(a) A－1面を上にして、
2枚のシートの対接関係を見た側面図の一例
第1の基材上面（A－1面）
第1の基材
第1の基材下面 （A－2面）
第2の基材上面 （B－1面）
第2の基材
第2の基材下面 （B－2面）
図1(b) A－1面を上にして、
2枚の基材の対接関係を見た斜視図の一例
A－1面
ピッキングリスト
XXXXX × 1台
XXXXX × 1台
XXXXX × 1台
XXXXX × 1台
封入シール
個人情報保護シール台紙
【個人情報隠蔽シール】
業書送付の際、この迷彩シールを記入欄に貼り情報を保護
送り状
受領書
B－1面
図1(c)B－2面を上にして、
2枚の基材の対接関係を見た斜視図の一例
B－2面
納品書
A－2面

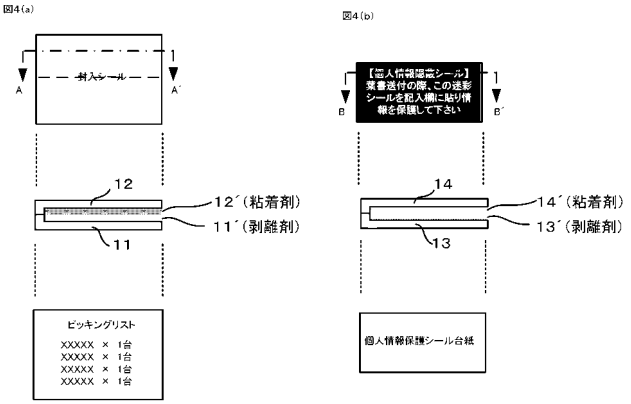
【図２】


第1の基材上面(A－1面)
第1の基材下面(A－2面)
第2の基材上面(B－1面)
第2の基材下面(B－2面)
ピッキングリスト
XXXXX × 1台
XXXXX × 1台
XXXXX × 1台
XXXXX × 1台
封入シール
【個人情報隠蔽シール】
業書送付の際、この迷彩シールを記入欄に貼り情報を保護して下さい
個人情報保護シール台紙
送り状
受領書
納品書
（第3の基材片）
第1の粘着剤塗布部
無塗装部
接着剤塗布部
剥離部(シリコン塗布部)
第2の粘着剤塗布部
(着脱可能な粘着剤)

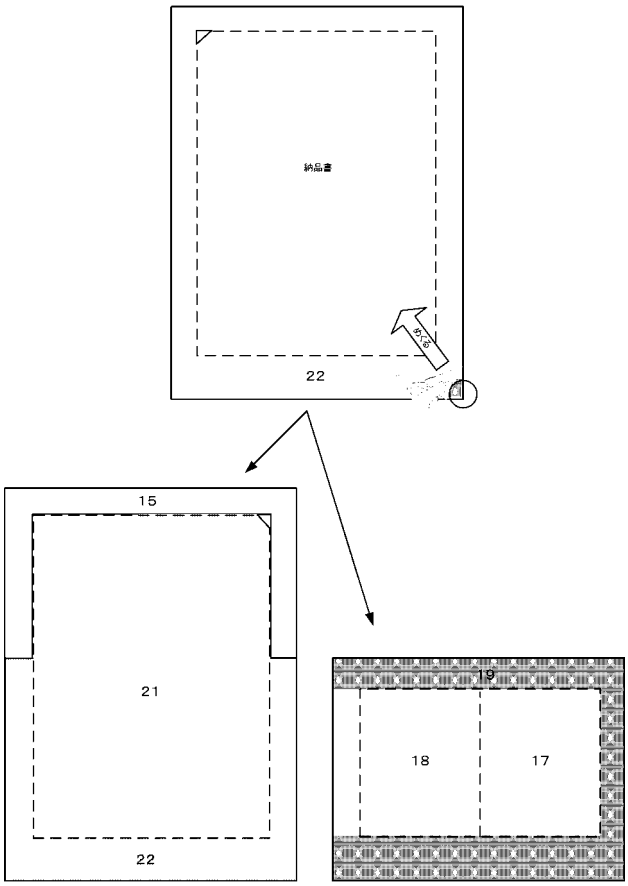
【図３】


ピッキングリスト
XXXXX × 1台
XXXXX × 1台
XXXXX × 1台
XXXXX × 1台
封入シール
個人情報保護シール台紙
【個人情報隠蔽シール】
業書送付の際、この迷彩シールを記入欄に貼り情報を保護して下さい

【図４】


図4(a)
封入シール
12´（粘着剤）
11´（剥離剤）
ピッキングリスト
XXXXX × 1台
XXXXX × 1台
XXXXX × 1台
XXXXX × 1台
図4(b)
【個人情報隠蔽シール】
業書送付の際、この迷彩シールを記入欄に貼り情報を保護して下さい
14´（粘着剤）
13´（剥離剤）
個人情報保護シール台紙

【図５】



【図６】

図6(a)

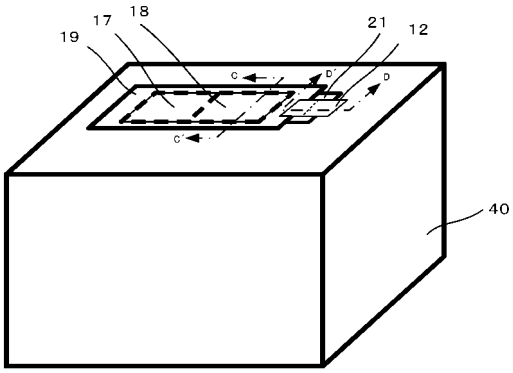


図6(b)

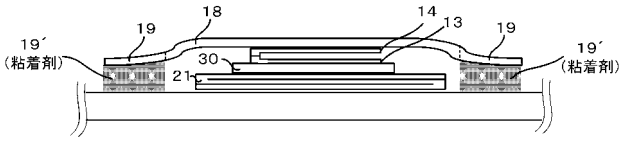
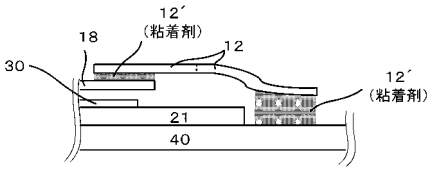


図6(c)



【図７】

図7(a)

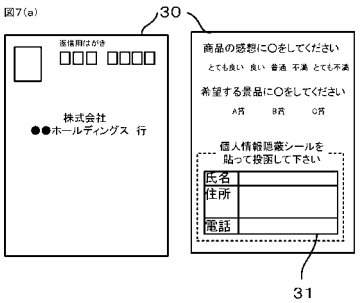
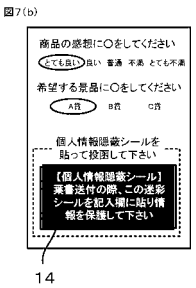
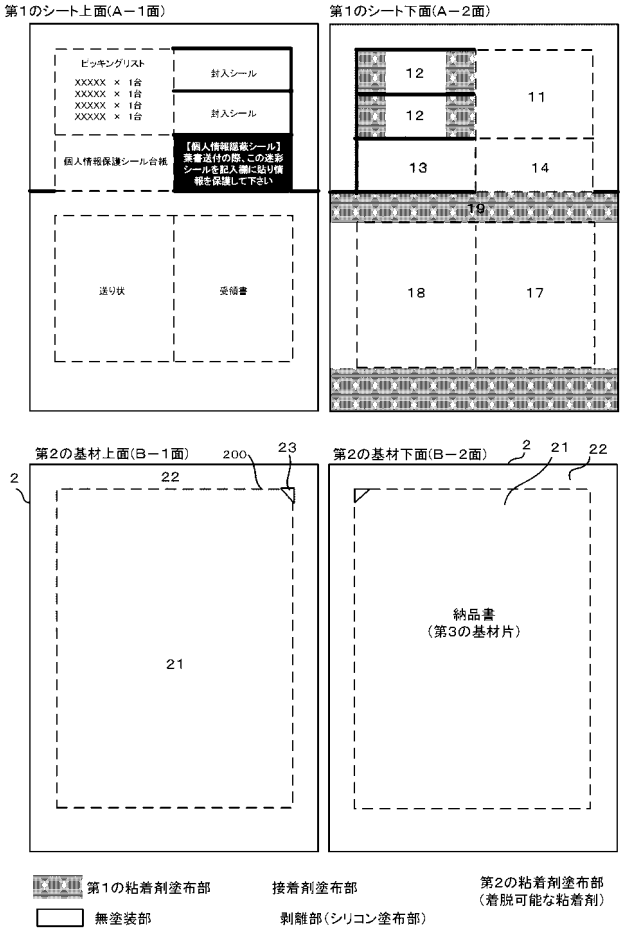


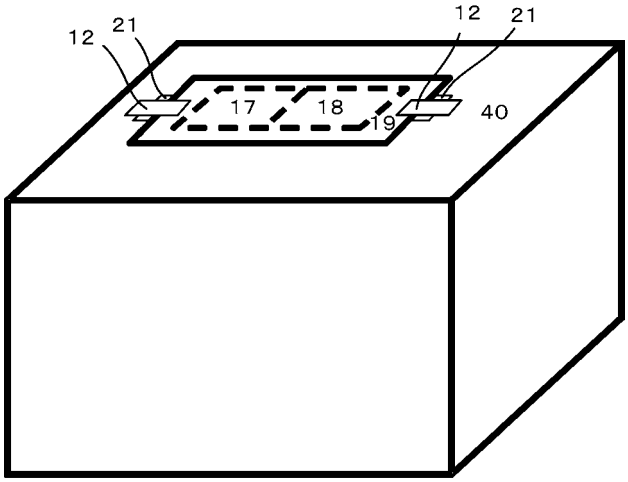
図7(b)



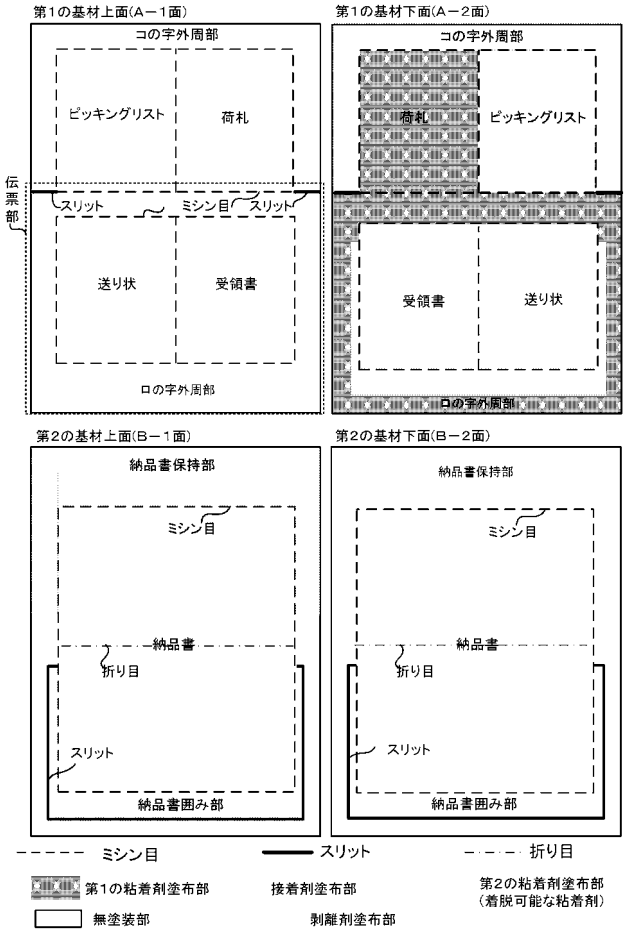
【図８】



【図９】

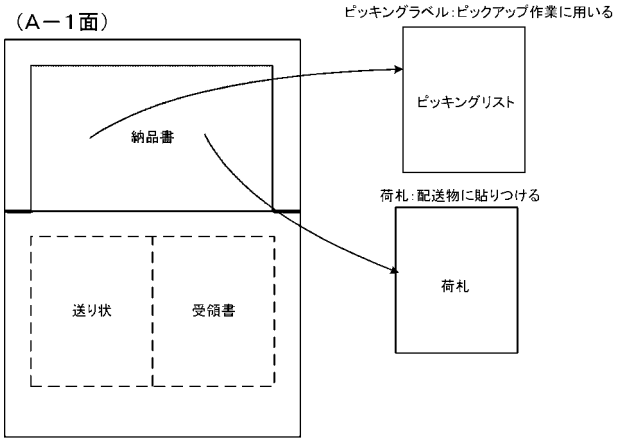


【図１０】

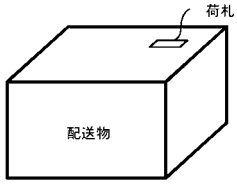


【図１１】

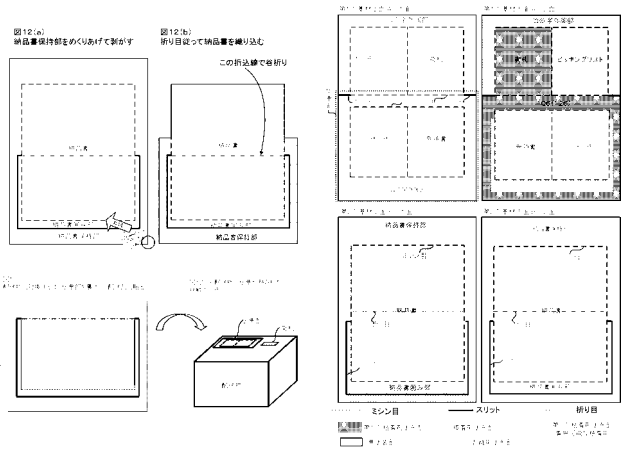
伝票から、ピッキングリスト、荷札を
ミシン目に沿って切り取り、分離した状態



(補足図)荷札を、配送物に貼りつけた一例



【図１２】



【図１３】

受領書と送り状がミシン目に沿って切り取られ、
ラベル帳票から分離される前と後

図13(a) 配送物貼られた伝票部(送り状・受領書切前)

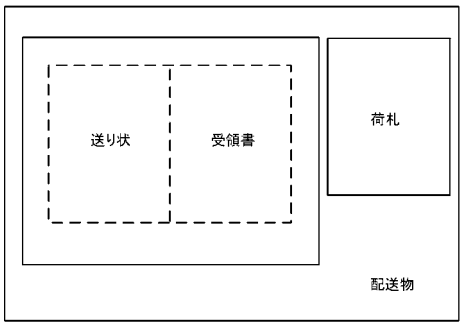
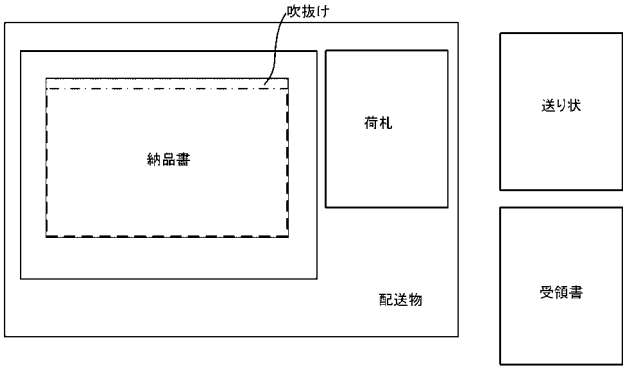
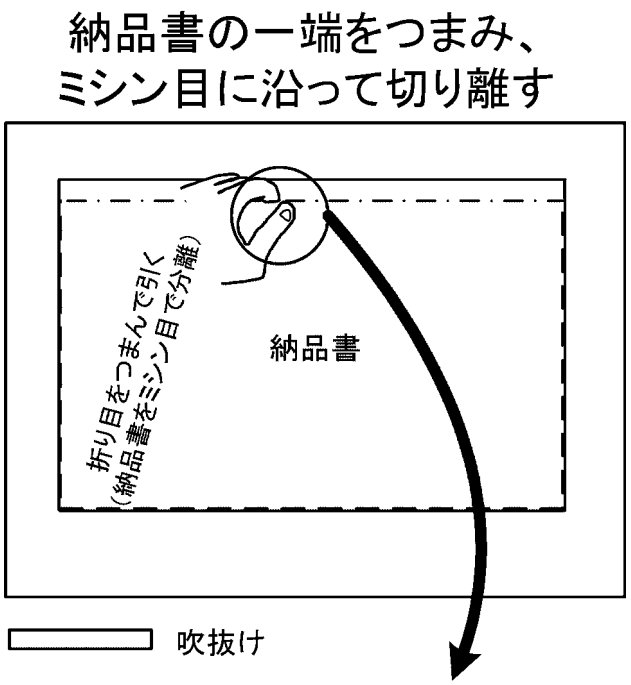


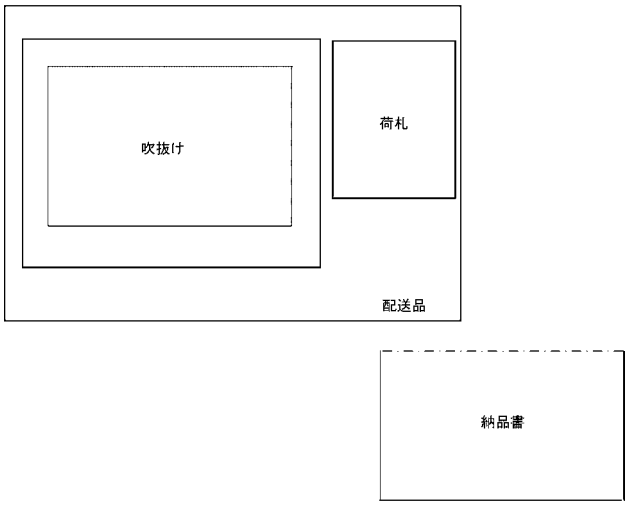
図13(b) 配送物に貼られた伝票部(送り状・受領書切取後)



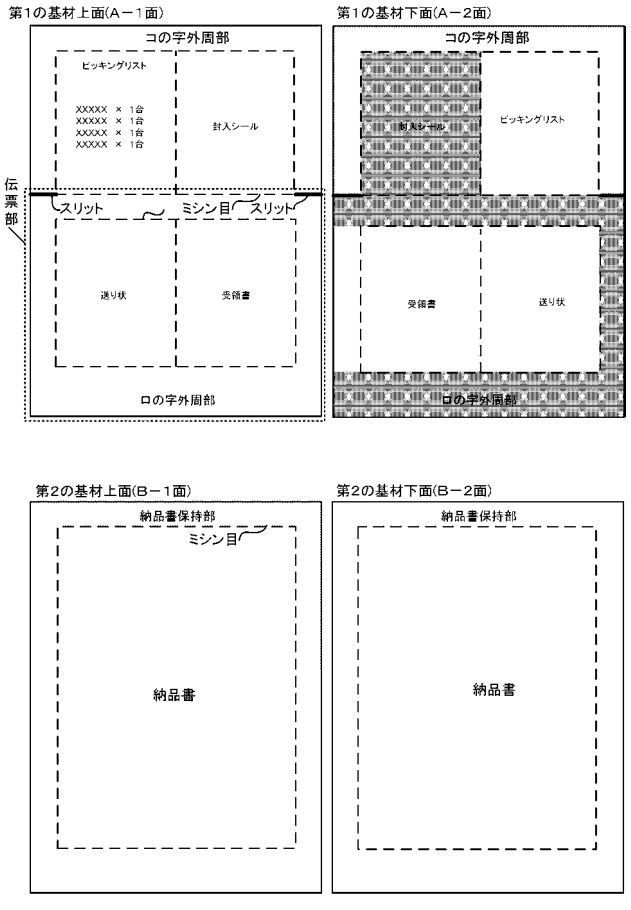
【図１４】



【図１５】



【図１６】



【図１７】

図17(a)

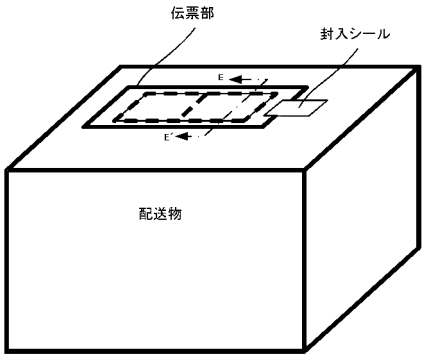


図17(b)

